

議案第42号

養父市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

養父市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を次のように定める。

令和8年6月16日提出

養父市長 大林 賢 一

養父市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

養父市消防団員等公務災害補償条例（平成16年養父市条例第275号）の一部を次のように改正する。（下線の部分は改正部分）

改 正 案	現 行
(葬祭補償) 第18条 非常勤消防団員等が公務により、又は消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し、又は応急措置の業務に従事したことにより死亡した場合においては、市は、葬祭を行う者に対して、葬祭補償として <u>33万円</u> に補償基礎額の30倍に相当する金額を加えた金額を支給する。	(葬祭補償) 第18条 非常勤消防団員等が公務により、又は消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し、又は応急措置の業務に従事したことにより死亡した場合においては、市は、葬祭を行う者に対して、葬祭補償として <u>31万5,000円</u> に補償基礎額の30倍に相当する金額を加えた金額を支給する。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正後の養父市消防団員等公務災害補償条例（以下「新条例」という。）第18条の規定は、令和8年4月1日（以下「適用日」という。）以降に支給すべき事由の生じた養父市消防団員等公務災害補償条例第4条第7号に規定する葬祭補償について適用し、適用日前に支給すべき事由の生じた同号に規定する葬祭補償については、なお従前の例による。

(補償の内払)

- 3 適用日からこの条例の施行の日（以下「施行日」という。）の前日までの間においてこの条例による改正前の養父市消防団員等公務災害補償条例第18条の規定に基づく葬祭補償（適用日から施行日の前日までの間に支給すべき事由が生じたものに限る。）として支払われた金額は、新条例第18条の規定に基づく葬祭補償の内払とみなす